

出石地域で活動している地域おこし協力隊員の内田義人さん。隊員活動2年目です。4月9日に、空き店舗を利用して、全国各地の特産品と、地元の住民による手作り作品を販売する店を始めました。一人旅が好きで全国47都道府県を旅した内田さん。人と触れ合いに魅力を感じ「都会よりも田舎で働いて暮らしたい」と思ったことが地域おこし協力隊を希望したきっかけです。また、好奇心が旺盛で、やまざまなことに挑戦しています。

内田さんは自身が空き家で飲食店を経営したいという夢があります。今回の出店で商売や経営を経験。「イベントなどもできる、自然と人が集まるようなコミュニティを生み出したい」と今後の目標を語りました。



空き家対策とコミュニティづくりで 出石のまちを元気に!

内田義人さん(26歳)出石町町分



Toyooka Topics

—とよおかの“旬”な人と話題—



▲温泉街を練り歩く稚児行列

城崎温泉「温泉まつり」

稚児行列、華やかに練り歩く

4月23・24日、城崎温泉街で城崎温泉の開祖、道智上人の開山忌を記念した「温泉まつり」が開催されました。

平安時代の装束姿に身を包んだ古典行列や、華やかな衣装を着飾った稚児行列が練り歩き、また、外湯の「地蔵湯」「柳湯」「まんだら湯」が無料解放されるなど、多くの観光客や地元の人々でにぎわいました。近年、外国人観光客が急増している城崎温泉。稚児行列を見学していた外国人が「ワオ、カワイイ」「beautiful」と声を上げ、盛んにスマートフォンやカメラで写真を撮っていました。

好天に恵まれた2日間、温泉まつりが城崎に本格的な春の訪れを告げました。

くろそんぶつ 狗留尊仮まつり

地域の活性化に願いを込めて

4月24日、狗留尊谷(竹野・床瀬区)周辺で、第26回狗留尊仮まつり(主催・同実行委員会)が開催され、多くの参拝者でにぎわいました。

狗留尊仮は、約2,000万年前の火山活動でできた巨大な流紋岩(高さ約10m)で、そのたたずまいから「縁結びの神様」「子宝の神様」として祭られています。のどかな春の陽気の中、来場者は、狗留尊仮にお参りするとともに、床瀬のそば「子宝そば」の振る舞いやbingoゲーム、丸太投げなど、地元の手作りのもてなしを楽しみました。

同実行委員長の田中 清さんは「そんぶつあんのご利益にあやかり、若い人や子どもたちが増えて、地域が活性化すれば」と願っていました。



▲地元で大切に守ってきた狗留尊仮

